

検査実施料に関するお知らせ

(管理番号: 22-0118)
2022年9月 C

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。
この度、令和4年8月31日付け厚生労働省保険局医療課長の通知「保医発0831第6号」により、測定項目に検査実施料が新設および留意事項の一部変更されましたので、下記の通りご案内いたします。

謹白

記

■ 新規保険収載

測定項目	保険点数
BCR-ABL1 (Major BCR-ABL1 (mRNA定量)) (フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病)	2520点
SARS-CoV-2・RSウイルス抗原同時検出(定性)	420点

■ 保険収載内容 一部変更

測定項目	保険点数
SARS-CoV-2核酸検出(検査委託)	700点
SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出(検査委託)	700点
SARS-CoV-2・RSウイルス核酸同時検出(検査委託)	700点

■ 適用日

2022(R4)年 9月 1日(木)から適用

▼ 新規保険収載

測定項目	BCR-ABL1 (Major BCR-ABL1 (mRNA定量)) (フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病)
保険点数	2520点
検体検査判断料	遺伝子関連・染色体検査判断料 (100点)
診療報酬点数表区分	「D006-3」BCR-ABL1 「1」
留意事項	<p>フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の診断補助及び治療効果のモニタリングを目的として測定した場合、「1」のMajorBCR-ABL1 (mRNA定量(国際標準値))の所定点数を準用して算定する。</p> <p>MajorBCR-ABL1 (mRNA定量)は、リアルタイムRT-PCR法により測定した場合に限り算定できる。</p>
測定項目	SARS-CoV-2・RSウイルス抗原同時検出(定性)
保険点数	420点(210点×2回分)
検体検査判断料	免疫学的検査判断料 (144点)
診療報酬点数表区分	「D012」感染症免疫学的検査 「44」
留意事項	<p>ア SARS-CoV-2・RSウイルス抗原同時検出(定性)は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、SARS-CoV-2抗原及びRSウイルス抗原の検出を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID-19の患者であることが疑われる者に対しCOVID-19の診断を目的として行った場合に限り、本区分の「44」単純ヘルペスウイルス抗原定性(角膜)の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。</p> <p>イ COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を1回に限り算定する。ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合は、上記のように合算した点数をさらに1回に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。</p> <p>ウ SARS-CoV-2・RSウイルス抗原同時検出(定性)を実施した場合、本区分の「23」RSウイルス抗原定性、SARS-CoV-2抗原検出(定性)及びSARS-CoV-2抗原検出(定量)については、別に算定できない。</p>

▼ 保険収載内容の一部変更

下線部分が変更されました。

測定項目	SARS-CoV-2核酸検出(検査委託)
保険点数	700点 (350点×2回分)
検体検査判断料	微生物学的検査判断料 (150点)
診療報酬点数表区分	「D023」微生物核酸同定・定量検査「10」
留意事項	ア SARS-CoV-2核酸検出は、検査の委託の有無にかかわらず、本区分の「10」HPV核酸検出の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。なお、採取した検体を、 <u>検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託により実施する場合は、国立感染症研究所が作成した「感染性物質の輸送規則に関するガイダンス2013-2014版」に記載されたカテゴリーBの感染性物質の規定に従うこと。</u> ～(略)～

測定項目	SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出(検査委託)
保険点数	700点 (350点×2回分)
検体検査判断料	微生物学的検査判断料 (150点)
診療報酬点数表区分	「D023」微生物核酸同定・定量検査「10」
留意事項	ア SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出は、COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、SARS-CoV-2及びインフルエンザウイルスの核酸検出を目的として薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を用いて、PCR法(定性)により、唾液、鼻咽頭ぬぐい液又は鼻腔ぬぐい液中のSARS-CoV-2及びインフルエンザウイルスの核酸検出を同時に行った場合に、検査の委託の有無にかかわらず、本区分の「10」HPV核酸検出の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。なお、採取した検体を、 <u>検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託により実施する場合は、国立感染症研究所が作成した「感染性物質の輸送規則に関するガイダンス2013-2014版」に記載されたカテゴリーBの感染性物質の規定に従うこと。</u> ～(略)～

▼ 保険収載内容の一部変更

下線部分が変更されました。

測定項目	SARS-CoV-2・RSウイルス核酸同時検出(検査委託)
保険点数	700点 (350点×2回分)
検体検査判断料	微生物学的検査判断料 (150点)
診療報酬点数表区分	「D023」微生物核酸同定・定量検査「10」
留意事項	<p>ア SARS-CoV-2・RSウイルス核酸同時検出は、COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、SARS-CoV-2及びRSウイルスの核酸検出を目的として薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を用いて、PCR法(定性)により、鼻咽頭ぬぐい液又は鼻腔ぬぐい液中のSARS-CoV-2及びRSウイルスの核酸検出を同時に行った場合に、検査の委託の有無にかかわらず、本区分の「10」HPV核酸検出の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。</p> <p>なお、採取した検体を、<u>検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託により実施する場合は</u>、国立感染症研究所が作成した「<u>感染性物質の輸送規則に関するガイダンス2013 2014版</u>」に記載されたカテゴリーBの感染性物質の規定に従うこと。</p> <p>～(略)～</p>